

Title	ネット業界における競争戦略
Sub Title	
Author	三田野, 巖(Mitano, Iwao) 小林, 喜一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2004
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2004年度経営学 第2002号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002004-2002">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002004-2002</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 論文要旨

所属ゼミ	小林 研究会	学籍番号	80328946	氏名	三田野 巖
(論文題名)					
<h1>ネット業界における競争戦略</h1>					
(内容の要旨)					
<p>Information Technology 技術の発達は、コンピュータやソフトウェア、インターネット・サービスなどの業界（以下「ネット業界」と呼ぶ）を誕生させるだけでなく、業界全体の機能を変革し、既存企業に求められる機能を、急速に変化させた。</p>					
<p>これらの新しい業界においては、ネットワーク外部性が強く働くため、先行者優位または勝者総取りとされ、日本において大小さまざまな企業が 1990 年代に設立されている。しかし、新しい業界で収益を上げる方法がすべてこの理論によるだけではない。</p>					
<p>本論文の目的は、こうした背景のもと、IT 技術を持って既存業界に乗り込み、インダストリー・バリューチェーンを組み替えることで、収益を上げた企業を事例として取り上げ、その方法を明らかにすることにある。</p>					
<p>本論文では、各国間の言語の差は業界構造を構築する上での制約条件になると考える為、日本国内における事例を研究対象としており、かつ、日本国内におけるコンピュータ業界、ソフトウェア業界、インターネット・サービス業界を研究対象としている。</p>					
<p>業界や個別企業によってビジネスモデルは異なる。しかし、業界の機能に注目することで、既存業界の機能と、IT 技術を利用し収益をあげている企業の機能との違いが明らかとなり、またこれらの違いは、大きく 3 つの機能別タイプとして、「プロデューサー型」、「フォーカス型」、「エージェント型」に分類することができた。</p>					
<p>そして、機能別タイプの企業のマネジメント方法について分析を行なうと、各タイプに共通する特徴がみられた。</p>					
<p>結論として、ネット業界に参入して収益をあげるためには、自らの経営資源を機能別に選別することがひとつの方法であることがわかった。</p>					